

狛江市民センター改修・新図書館を考える合同市民ワークショップ（2022年4月10日開催）の意見

グループ名：うさぎ		
分類	図書コーナーは	理由
全体	専門的資料の提供は不要	幅広い利用者のベネフィットの為に特定の人の便益を増加させない
	-	他市との連携可能
	-	小中高の図書館との連携
子供	別々のスペースを設けて欲しい	子供達と大人がお互いにインターラプトしないようにして欲しい
	賑やかなスペースを基本とし、一部静寂スペース確保	子供と気軽に利用したい
	それら本のスペースと読み聞かせスペースの充実	子供用の本、児童書を増やしてほしい
電子図書・データ化	電子図書を増やして欲しい	コロナ等の可能性を減らすために
	電子図書と同様にリアル本の充実も大切	とり残される人があってはならない
	ブックスキャナー	持ち込み本のデータ化
	大型のスキャナー、大型プリンター	大判の本のコピーや大サイズのデータ（画集等）の出力
	-	身体障がい者にも易しい
	-	シニア層に易しい
スペース	ブックカフェ式図書コーナー	多世代間交流
	ゆったり滞在型図書館がほしい	本を借りるだけでなく、交流の場としての図書館も大切
	コワーキングプレイスは不要	滞在時間が長くなる可能性の高い仕事用のスペースは不要
面積問題	市民センター内に1,500～2,000㎡で図書館を整備する	利便性をよくするため
	市民センターのなかに1,500～2,000㎡の中央図書館を作る	-
	図書館の主機能を市民センターに残す。1F全部図書館	図書館の分割は使いにくい
予算	サービス、資料を重複させない	不要なコストは掛けない
	トイレの位置を変える	男女を別（壁を挟んで）
	トイレの位置は変えない	工事費が高つくから
	今使って使えるものは大事にする	持続可能な狛江だから
(その他)	市民食堂、テラス、中庭の機械室を利用し、市民活動支援センター（こまえくぼ）を移動させないで500～700㎡確保	スペース確保が大切
	市民活動支援センター（こまえくぼ）と共有エリアとしてコーナーを活用（拡大）する	スペースを確保するために
	図書館にかかわるボランティア団体の意見は大切。市民センター内で活動しやすく条件を整えるべき	-
	図書館くらいは日本で一番小さくて魅力的な図書館	日本で2番目に小さい市。2番目は中途半端だから
	これからも市民参加の図書館	面積もせまく人口も少ないので、ハード面に予算はおさえ
	地域センターの図書室は市が直営で責任を持つことが大切	-
	地域センターも直営で	地域センターの図書コーナーの充実のために

グループ名：くま

図書コーナーは	理由
新図書館が狭いから、図書コーナーに向けて残すのはおかしい？	
0.新図書館の機能検討が先？	
新図書館はどんな機能？	-
どう考えても「新図書館」の構想が先では	-
新図書館がわからない段階で「図書コーナー」？あやまちをただすのにはばかることなかれ	-
なぜ「図書コーナー」なのか？	-
図書館と図書コーナーの役割をどうすればよいか	-
「基本方針…」に「図書コーナー」は1か所「B㎡」のみ	-
「B㎡」は0も800もあり？	-
近くの図書館の見学を（第3回W.Sで）	-
提案 多摩市！近隣の図書館見学したらどうか	-
市民提案書はどこに？	-
1.図書コーナー全体・方針	
①分割は避ける	
図書コーナー 新館とは別 例：市民センター図書室	-
図書コーナー 予約、受取、ワークスペース、学習室 サービス部門は置かない	-
図書館と図書コーナー分割反対	児童用だけにすると一緒に来た親が読む本が無い
②せまい	
図書コーナー 300㎡といわず広げて核に 複合施設の例多い	-
新図書館が狭いから？	-
受け付け相談コーナー	子ども子育てを担当する部分だけ残すのはおかしいから
2.対象しぼるなら子育て世代と中学生までの児童	
子どもをメインで	子育て世代、中学生までを対象にしては
子育て世代中心のものを	絵本の充実をしてほしい
子どもファーストの街づくり 未来への活力	強いて言えば……子ども図書館（就学前……？）
大人と一緒に利用しにくい	子ども図書館にしてしまうと
図書館との違い→子育て世代に蔵書をしぼりたい	-
大人世代は、若い世代は電子図書になる	電子図書の対応をしては
機能→電子図書をPCで	-
PCで電子図書を	-
電子は出力、紙の本は入力→電子も良いが紙の本から学ぶこと大事	-
つくってあげたいけど……	中高生の居場所
3.市民活動支援コーナー	
図書コーナーと合わせてフリーに話せる場を明るく、わかるい場に置いて欲しい 福①	-
市民活動支援センターで作った動画（いろいろ）を観れる場を図書コーナーに欲しい 福③	市民活動をしたい人々や小学生の社会教育として
事例検索できるPCを図書コーナーに	-
市民活動支援コーナー小学生に使って欲しい	-
市民活動支援職員に相談できるスペース	-
小学生の活動で気軽に相談しにきてもらいたい 福②	-
個々の必要機能	
①狛江の歴史文化の本・紹介コーナー	
狛江市はこういう街だということにつながる郷土、歴史、文化コーナーを設置 ぜひしてほしい	図書館以上に様々な目的で訪れる人がいる市民センターである
②学習エリア	
学習エリアの創設	学習スペースの絶対的不足
③子ども向け+世代	
子ども向け図書コーナー、大人の新聞雑誌コーナーを設ける等	多世代が交流できる機会が求められている
子ども図書コーナーを設ける合理性はあると考えます	市民センターや市民食堂利用者との相乗効果を持たせた方が良い
気軽に雑誌や新聞を読めるスペースとしてはどうか？	専門家の意見にもあったが、ある程度にぎやかで人々が交流する場所となる所だろう
外に対し開かれた造りにして欲しい	今の市民センターは外に対し開かれた造りになっておらず、より狭い印象を与えてしまっている

グループ名：パンダ

図書コーナーは	理由
子ども専用図書館（子ども心もった人はOK!）	子ども達と一緒に本を読んで声だして共感できるような使い方をしたいから
子供用	さわぐから
絵本だらけ	子育て世代
保育とえほん	保育室と運用を考える 児童書
新図書館（駄倉）の”分館”的位置づけで親子などターゲットしぼる	公民館及び市民活動センターのスペース確保が先
児童書、雑誌等をおいて、ゆったりすごせるコーナーに	図書館と離れているので
新聞雑誌	シニア世代
読み聞かせや本を介したイベントができるスペースを	公民館や市民活動支援センターと図書コーナーの連携
多世代で図書と触れ合えるフリースペース（にぎやかさも許容する）	市民センターとしての交流機能を生かす（静かに読書したい人は図書館で）
市民センターのエントランス、市民ひろば、ジャックポットと一体的に考える	スペースを有効活用するために、手にした本をジャックポットで読んだり、市民広場で読んだり…
テラス	のんびりしたい
専門スタッフは置かないレベルでいい	図書コーナーは限定的でいい
電子図書デスク10台	少ないスペースですむ 公民館スペースを大きく
公民館のフリースペースに隣接して150㎡位でよい（フリースペースの一部）	300㎡はとても大きい（今の地下ホール（239㎡）より大）
現図書館を市民センターに残す。市民センターは増床する	駄倉は狭すぎ、3Fにわたり、今より悪くなる可能性がある。現状を維持した方がよほど良し
駄倉は分館にする。図書コーナーは現図書館に	分散は反対
支援センターは現状の場所に	現状図書館を維持する増床の可能性のため

グループ名：ひっじ

分類	図書コーナーは	理由
市民のしあわせ 市民の力		
子ども	こども図書館として独立すべき	親子での利用がしやすいので
	子ども図書館の設置	図書館は静かな所であるべきですが、小さな子供にそれを求めるのは難しい
	絵本を遊びながら読めるフリースペース	子供達にたくさんの絵本にふれてほしいから
	市民センターにのみフリースペースとしてのエリアを設けて欲しい	静かに本を読んだり、探したりしたい
	子供が遊ぶことができるスペースがあるカフェ	子供連れのママがゆっくりと本を読むことができるようにしたいから
	子供用のスペースはテラスや外につながる（窓が広い）エリアに作って欲しい	フリースペースもなるべく静かにして欲しい
	駐車スペースの確保	子ども図書館にしたい
だれでも	飽きない、疲れない、くつろぎの空間	子どもと高齢者にやさしい
	カフェ いこいの場	気軽にやすらげる空間
	外に面した室内を明るくする大きな窓	今の図書館は暗いイメージがあるから
	バリアフリーの充実 高齢者 障がい者対応	だれでもが使用できる使いやすさ
	-	車イスユーザー、ハンディキャップのある方が使いやすい
市民のこえ	狛江をわかるしくみ	狛江を知る、狛江を良いところに
	市民が良く思える理解できるスペース	公民館、市民センター、図書館とも協同して共有
	多摩川の水害など防災の情報を流す動画	狛江市を知ってもらいたい
	図書コーナー 公民館の共有スペース	地域としての役割
マンパワー	専門職確保	専門的なサービスしたい
	相談できるスタッフの必要性、育成と配置	-
	職員さん必要 相談 必要な本をさがす手立て	-
ハード・システム	オンラインシステム	書籍を知らべる（窓口として）
	Web、ネットの機能の充実化	西河原、岩戸など他の図書館との連携を強くしたい
	各市民センター内のブースにミニ図書エリア（パソコン設置）	連携することで広がり・伸びへ
	各図書室（？）6ヶ所？の状況（混雑、空）	市民センターは情報交流の場であろうから図書の情報
	カテゴリーの充実ではなく、充実しているところを伸ばす。それが狛江	市民センターは窓口 市民のワーク紹介